

森林内の野外活動-実習

2018年6月3日(日) 晴れ 高尾山

FIT福樹会の皆さんの協力を得て「初夏の高尾山親子自然観察会」リハーサルに参加する形で森林インストラクター資格取得支援講座5日目「森林内の野外活動-実習」を実施しました。

福樹会の幹事の皆さんの運営作業を見学するために7時50分に高尾山口駅に集合し、8時からの幹事・班長打合せから、開会式、観察会、閉会式、終了後のスタッフ打合せまで、親子自然観察会の進め方を見学しました。



幹事・班長の打合せを見学

開会式のリハーサルから一般のお客様役として各班に分かれて参加し、幹事の皆さんの開会式の運営を見聞しました。その後、班別に分かれて各班長さんと一緒に行動し、アイスブレイキングの進め方や、子供目線での観察のポイント、子供向けの解説などを指導して頂きました。

幹事の皆さんの運営や班長さんの解説に対して、①運営面の工夫、②お客様への配慮、③安全面の配慮、④観察・解説の工夫点の4項目について「友の会」の参加者に、良かった点や気づき事項を記録して貰いました。子供向けに絵を使った安全注意や、子供向けと親向けに分けた安全の注意、混雑する山道での観察・説明やすれ違い方の説明等、いろいろメモしていました。

観察会途中で「お客様が熱中症になった」との想定で実施した緊急訓練に「友の会」の会員が傷病者役で協力しました。一部のスタッフだけにしか伝えてない訓練とのことで、班長さんは、症状の確認、水分補給、体を扇いで冷やす、安全担当スタッフへの連絡等、本番と同様迅速で適切な対応でした。



参加者が熱中症になった緊急訓練

閉会式のリハーサルでは、参加者として小学生のつもりで一人ずつ感想を述べ、また資格取得を目指す「友の会」会員として感想を述べました。”班長さんからいろいろ教えて貰って楽しかった” “勉強して知識を増やしたい”等の感想がありました。

今回の実習は『資格取得後、自分たちが運営する親子自然観察会の概要をつかむ』ことを目的として実施しました。将来の自分たちが運営する姿をイメージでき、資格取得のモチベーション向上に繋がることを期待します。

参加者：6名 氏家さん、小野さん、芝原さん、高田さん、福山さん、山口さん

講師：福樹会幹事の皆さん、初夏の高尾山親子観察会の班長さん

(報告：FIT友の会運営部会 槇田幹夫)



お客様役で開会式リハーサルに参加



班長の花の解説を聴く



班長の樹木の解説を聴く



閉会式の進め方の打合せを見聞



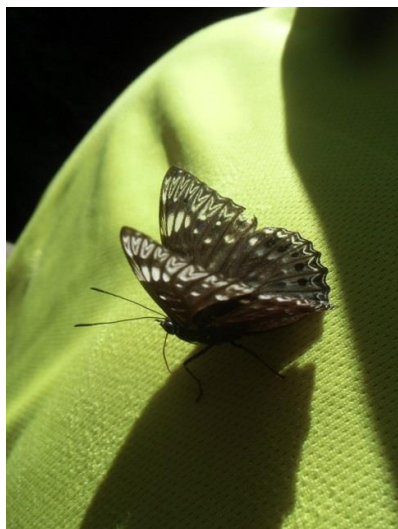
閉会式リハーサル：子供役としての感想



閉会式リハーサル：友の会会員としての感想



子供が興味を持つ物その1
モリアオガエルの卵塊



その2
班長にとまったスミナガン



その3
キアシドクガの蛹